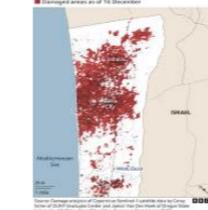


整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -73	2024/1/24	ISRAEL - HAMAS 2024 SYMPOSIUM - ALGORITHMS OF WAR: MILITARY AI AND THE WAR IN GAZA	【軍事技術とAI関連】 「イスラエル-ハマス 2024 シンポジウム-戦争のアルゴリズム: 軍事 AI とガザでの戦争」	LIEBER INSTITUTE 2024/1/24	 イスラエルとハマスの争いはまだ収束が見えませんが、更にイランとイスラエルの対立が表面化し、中東における平穏はいつ訪れるのでしょうか。戦争とAIについては、意思決定とその責任の所在について曖昧な点があり、曖昧な状況で民間人に犠牲が出てもいい訳はありません。国際法の Jus ad Bellum(ユース・アド・ベルム; 開戦法規)と Jus in Bello(ユース・イン・ベロ; 交戦法規)に対するAIの関わりについては今後も問題提起されると思います。	工藤悟
2024 -74	2024/4/24	GD chief says Navy's 1 sub buy won't impact company short term, but out years less certain	【米原潜建造基盤関連】 GDトップが海軍の潜水艦年1隻購入は短期的には影響ないが、数年先は不確実であると語る	Breaking Defense 2024/4/24	 米国で原潜の建造ペースが年1隻になることに対する影響を建造会社CEOが述べた記事です。短期的な影響は少ないものの、長期化すると、特にサプライチェーンの中小企業への影響が大となる恐れありとのことです。しかしながら、現在でも年2隻の調達に対して就役は年1隻強と建造が遅延している現状を見ると、身の丈に合った最適化が必要な気がします。	佐々木司
2024 -75	2024/4/24	USS George Washington to Depart for Japan via South America	【日本配備米空母情報】 米空母ジョージワシントンが南米経由で日本に向け出航	USNI 2024/4/24	 2005(平成17)年から10年間、日本を母港とした米空母ジョージワシントン(GW)(CVN73)が再び日本を母港とするようです。記事によれば現在横須賀を母港とするロナルドレーガン(RR)(CVN76)を米本土で修理するための措置。2015年から10年近く横須賀を母港としたRRですが、大規模修理となるのでしょうか。核燃料搭載と諸々のメンテナンスを終えたGWですが、当初4年で済ませるべきROCHが2年延長し6年かかっています。COVID19を起点とするサプライチェーンや労働力の問題に起因しているとはいえ、RRの修理期間が気になります。また、ROCH期間中に乗員の9人が自殺するという状況は、原子力空母の維持整備期間中のほうが乗員の負荷がかかることを意味するのでしょうか？	山越博道
2024 -76	2023/12/28	What is Hamas and why is it fighting with Israel in Gaza?	【イスラエル軍事技術】 ハマスとは何か、なぜガザでイスラエルと戦っているのか?	BBC NEWS 2023/12/28	 イスラエルの軍事技術に焦点を当てていると、その根本たる背景に視点を向けざるを得なくなります。技術的な内容はありますが、戦争の経過などの解説としてBBCニュースに「What is Hamas and why is it fighting with Israel in Gaza?」のタイトルで継続して掲載され、定期的に内容がアップデートされています。日々情勢が変わっていますが、今回は昨年2023年末までのイスラエルとパレスチナ(ハマス)の状況についてです。最新版は2023年4月6日発行	工藤悟
2024 -77	2024/4/25	China has reportedly made progress on a laser-powered submarine project	【中国潜水艦推進技術研究】 中国がレーザー動力潜水艦プロジェクトで進展があったと報じられる	Navyrecognition 2024/4/25	 中国が潜水艦にレーザーを用いた動力システムを開発しているようです。確かにレーザー推進システムは各国で研究されていますが、空中での話であり、水中での推進システムにレーザーを用いることは初耳です。水中を超音速で航行できるような記述がありますが、流体抵抗などどのように解決するのでしょうか。かつてソ連が超高速の直進魚雷を開発したことがありました。	佐々木司
2024 -78	2024/5/3	Boxer deployment delay highlights aging fleet, lack of repair capacity	【米艦故障情報】 Boxer配備の遅れは、老朽化した艦隊と修理能力の不足を浮き彫りにする	Defense News 2024/5/3	 米海軍揚陸艦Boxerが修理期間を終えて出港直後に操舵システムに重大な故障が発生し、母港に戻って大規模な修理を行うことになりました。老齢艦船が多い揚陸艦隊にとってこの傾向は海軍の悩みの種のようなのです。海軍長官は新造艦船を建造すべき時に建造なかったツケを今払わされているのだと嘆いています。海自でも新造艦船を建造せずに延命に頼ると同じ事になります。	佐々木司
2024 -79	2024/3/1	Australia's new navy: The Japanese option	【豪州新型フリゲート関連】 豪州新海軍: 日本艦船の選択肢	The Interpreter 2024/3/1	 昨今の報道を受けまして、改めて本年2月の豪州政府の発表文書と、少ない豪州国内の報道を確認しますと、豪州海軍の次期フリゲート艦への「もがみ」型の親和性が明確になってきます。ここに豪州国内の好意的な記事を紹介致します。ただし、内容は、極めて冷静かつ理性的な考察だと思います。	本山泰之
2024 -80	2024/5/16	HD HHI And Palantir Reveal Tenebris Unmanned Surface Vessel	【韓国USV関連】 韓国の現代重工HDとパランティアはTenebris USVを公表	Naval News 2024/5/16	 現代重工が米国のソフトウェアを得意とする会社と共同してUSVを開発します。「韓国製は品質に問題あり」等の意見が世間ではまだまだありますが、このような事業を展開する体力と能力は日本を凌いでいるのではないのでしょうか。	川原梅三郎
2024 -81	2024/5/15	China Builds World's First Dedicated Drone Carrier	【中国ドローン空母】 中国、世界初のドローン専用空母を建造	Naval News 2024/5/15	 中国がドローン空母を建造しているとの記事です。これまで色々なドローン母艦の存在が明らかになってきましたが、空母型については、今回が初めてです。我が国も法的な問題、研究開発との兼ね合い等もあるのですが、スピード感のある防衛力整備を促進すべきと憂慮します。U	川原梅三郎

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -82	2024/5/17	Chinese Experimental Corvette Starts Sea Trials	【中国実験艦】 中国の実験用コルベットが海上試験を開始	Naval News 2024/5/17	 中国海軍が新型のステルス実験艦を建造しているようです。日本のFFMに類似した外観、Zumwaltのような主砲など、ステルスに関する各種実験を行うのかもしれませんが。特徴的なのは上甲板に見える膨張式の物体です。見たところ米英海軍艦艇の一部に採用されている投下式膨張型デコイFLOATING DECOY SYSTEM(FDS)の類似型に見えます。	佐々木司
2024 -83	2024/5/20	Turkish MILGEM Corvette In Malaysia's LMS Batch 2 Configuration	【土コルベット輸出関連】 トルコのMILGEMコルベットがマレーシアのLMSバッチ2構成に	Naval News 2024/5/20	 マレーシアは、トルコが開発したコルベットをベースとして導入するようです。搭載するミサイルはトルコ製その他、韓国製を想定しているようです。船体と武器のコンフィグレーションの変更が容易に出来るという点が、武器輸出では不可欠だと考えます。	川原梅三郎
2024 -84	2024/4/23	Ship to shore - new solutions for getting troops onto the beach	【英揚陸艇開発】 海岸への船舶 - 部隊を海岸に上陸させるための新しい解決策	NAVY LOOKOUT 2024/4/23	 英海兵隊の次期揚陸艇の開発に関する情報です。高速で耐航性を有し、航続力やステルス性をも考慮した船艇を追求しています。英海軍は、エアクッション艇を運用していないため、LCUの能力向上の方向性が見受けられます。ただし、全くの新概念であることから、エアクッション艇と対比して性能等を評価していくことは、意味ある事だと思います。	本山泰之
2024 -85	2024/4/23	Power play - what factors influence a navy's choice of submarine propulsion?	【潜水艦電池関連】 パワープレイ - 海軍の潜水艦推進装置の選択に影響を与える要因は何ですか？	Shephard 2024/4/23	 潜水艦商戦も、相手国の地理的關係と運用要求によって、様相が細かく変化してくるようです。決して、性能一辺倒ではないという事例を紹介しています。潜水艦セールスでは、安全性が何より優先されますが、運用に対応したライフサイクルコスト試算も重要となるでしょう。このとき、提案国は国産化率の実態を含めた、正確な説明が信頼に繋がると考えます。	本山泰之
2024 -86	2024/4/23	AUKUS - why the alliance won't be accepting new members any time soon	【AUKUS同盟情報】 AUKUS - なぜ同盟にすぐには新規メンバーを受け入れないのか？	Shephard 2024/4/23	 先般の岸田首相の訪米の折、取り沙汰されたAUKUS同盟への日本参加に関連した記事です。当同盟が如何に機能しているかが不透明であり、不安定であるか、余り成果が挙がっていないように推察されます。それが日本の参加を許可しない最大の理由とお見受けしました。AUKUS Pillar IIの取組み分野は、日本にとり非常に重要な研究分野と思いますが、現段階、日本は自身の努力で、その実力を高めていくべき状況のようです。	本山泰之